

平成28年度 第三次西東京市地域福祉活動計画 進行管理表

居場所づくり部会

| | |
|----------|-----------------------|
| 具体的な活動内容 | 誰もが立ち寄れる雰囲気のある居場所をつくる |
|----------|-----------------------|

| | | |
|----------------------|--|--|
| Plan (当期アクションプラン) | <ul style="list-style-type: none"> ・考察、検討 ・活動者を増やす | <p>評価基準</p> <p>A 計画どおり実施済</p> <p>B 計画の50～100%未満の実施</p> <p>C 計画の1～50%未満の実施</p> <p>D 未実施</p> |
| 目標(値) | (平成28年度)4拠点 | |

| | | |
|----|------------|--|
| 成果 | 目標値に対する成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・サロン参加者からスタッフになった方や、友人を誘うなどで、活動者が4人から7人になった。(サロン参加者で自主的に手伝う方は別にいる) ・サロンマニュアル<「寄りたいな」って思う居場所は？ 居場所づくり実践の手引き>を作成した。 |
| | 取り組みに対する成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・サロン「よってらっしゃい」が軌道に乗り、小学生や高齢者の居場所として定着した。 ・「マニュアルを作成しそれを活用して市内にサロンを増やすという具体的な目標につながった。 |

| できること・したいこと | | Do (当期の実施状況) | Check (自己評価) | | |
|---------------|---|--|--------------|---|---|
| 担い手等 | 活動計画記載事項 | | 評価 | 取り組んだこと(良かったこと) | 今後の活動に向けて(課題等) |
| 市民 (できること) | <ul style="list-style-type: none"> ・人に声をかけて、誘う ・人の良いところを見つける ・活動に参加をする | <ul style="list-style-type: none"> ・サロンマニュアルを作成する。 ・サロン「よってらっしゃい」を運営する。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル原稿を分担して作成し編集会議を重ねて、28年度3月に完成した。 ・サロン活動時には、道行く人に声掛けをおこなった。 ・毎月サロンのチラシを作成し、情報提供した。 ・街中いこいーなサロン(市の通所型サービスB)補助金を申請し、活動資金にあてた。 ・サロンの(社会の)ルールを伝えていくことで、参加小学生の社会性が身についたように思う。(あいさつができるようになった。) | <ul style="list-style-type: none"> ・29年度社協の事業に協力する。 ・マニュアルを活用して、サロンの立ち上げや活動者の支援を行なう。 ・行事保険加入のため、参加小学生の連絡先を聞く。前段階として保護者向けのチラシを作成し、活動を知っていただく。 |
| 社協 (担うこと) | <ul style="list-style-type: none"> ・社協の中でプロジェクトをつくる ・社協だよりで、場所の提供者や人を募集する ・活動をサポートする | <ul style="list-style-type: none"> ・サロンマニュアル作成のための企画提案、編集、印刷を行なう。 ・市の補助金申請についてサポートする。 ・地域活動拠点の候補地についてチラシを作成し、情報提供を依頼して、現場確認を行なった。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・サロンマニュアル作成に関して、全国社会福祉協議会に相談し、「ふれあいいきいきサロン」の手引きから引用掲載する許可をいただいた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・サロン立ち上げ講座を2回実施し、活動者を増やす。 ・地域活動拠点を開設する。 ・新規地域活動拠点を継続して探す。 |
| 市 (期待すること) | <ul style="list-style-type: none"> ・場所に関する情報提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供のあった候補地の現場確認に同行した。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 拠点候補地の情報提供や、現場確認の結果を市へ報告した。 | |

| | | | | |
|----|---|---|--|--|
| 総合 | Do(当期の実施状況) | A | <ul style="list-style-type: none"> ・サロン終了後に毎回振り返りを重ねたことで、参加者の情報を共有できたり、課題解決のために講座を実施した。 ・サロン利用者で自主的に片づけの手伝いをする方がいる。 ・小学生がきちんとあいさつできるようになった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・静かに過ごしたい方や、おしゃべりしたい方、みんなで何かをしたい方など、様々な方が集うので、それぞれが居心地の良いと思えるサロン運営に取り組む。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・サロン利用者と向き合い、話をすることで、体操や季節のイベントなどに取り組み、サロンでの活動が豊かになった。 ・直接、居場所を作るのではなく、居場所を増やすためにサロン活動の実践をもとにマニュアル作りに取り組み、全員で原稿を作成し、編集を行ない、3月に完成させた。 | | | |

| | |
|----------|----------------|
| 具体的な活動内容 | 一緒に活動できる機会をつくる |
|----------|----------------|

| | | |
|----------------------|--|---|
| Plan (当期アクションプラン) | ・話し合いの会をつくる(交流イベント企画に向けた話し合いの場をつくり、実施) | 評価基準 A 計画どおり実施済 B 計画の50～100%未満の実施 C 計画の1～50%未満の実施 D 未実施 |
| 目標(値) | ・話し合いの会発足 | |

| | | |
|----|------------|---------------------------------------|
| 成果 | 目標値に対する成果 | 社協のサロン立ち上げ講座やサロン交流会に出席し、意見交換を行なった。 |
| | 取り組みに対する成果 | 作成中のサロンマニュアルの参考になった。29年度の取り組みの基礎ができた。 |

| できること・したいこと | | Do (当期の実施状況) | Check (自己評価) | | |
|---------------|---|---|--------------|--|--------------------------------|
| 担い手等 | 活動計画記載事項 | | 評価 | 取り組んだこと(良かったこと) | 今後の活動に向けて(課題等) |
| 市民 (できること) | ・いろいろな交流イベントに参加する(参加の仕方はさまざま！) ・アイデア出しの話し合いの場に参加する | ・他団体のサロンに参加し、スタッフと意見交換をした。 ・サロン立ち上げ講座にて体験談を発表した。 ・サロン交流会にスタッフとして参加し、グループワークでは進行係を務めた。 ・地域活動拠点の利用団体懇談会に参加し、意見交換を行なった。 | A | ・日常的に活動を続けることができた。 ・参加者が主体的に準備や体操を推進するようになった。 ・子どもからのアクションにより、高齢者の活性化につながっている。 | サロン連絡会の立ち上げ、運営について検討していく。 |
| 社協 (担うこと) | ・団体リストづくり等の支援を行う ・関係者、関係団体への参加を呼びかける | ・サロン見学のための情報を提供。 ・関係者、関係団体との調整。 ・サロン立ち上げ講座、サロン交流会について情報提供し、協力を呼びかけた。 | A | ・住民視点で意見交換を進めることができた。 ・掲示板を設置し情報提供の手段を増やした。 ・学習の場として講座を開催するときは拠点利用団体や、掲示板を用意して多くの参加者の呼びかけをおこなった。 | サロン連絡会やサロンマップの作成について検討し提案していく。 |
| 市 (期待すること) | ・イベントの共催 ・幅広い分野の部署から交流イベントへ参加 ・市の計画関係者への参加の呼びかけ | 地域活動拠点の整備費の承認 | B | 街中いきいきなサロンとして活動することで、効率のよい予算執行ができる。 | 継続して街中いきいきなサロンとして活動を行う。 |

| | | | | | |
|----|-------------|---|--|--|--|
| 総合 | Do(当期の実施状況) | | | | |
| | | ・地域活動拠点利用団体懇談会への参加や既存のサロンの見学、社協のサロン立ち上げ講座やサロン交流会への協力などを通してサロン活動者と情報交換を行ない、マニュアル作成に活かした。 ・毎回のサロン終了後に振り返りをおこない、必要に応じて講座を企画、実施した。 | | | |

平成28年度 第三次西東京市地域福祉活動計画 進行管理表

人材部会

| | | | | | |
|----------------------|--|--|--------------|--|--|
| 具体的な活動内容 | | “地域スカウトキャラバン”をつくる | | | |
| Plan (当期アクションプラン) | | ・企画実施、報告する | | 評価基準 A 計画どおり実施済 B 計画の50～100%未満の実施 C 計画の1～50%未満の実施 D 未実施 | |
| 目標(値) | | 企画実施 | | | |
| 成果 | 目標値に対する成果 | 西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ主催のイベントで企画を実施した。 | | | |
| | 取り組みに対する成果 | 企画を実施することができたと共に、様々なつながりをつくることができた。 | | | |
| できること・したいこと | | Do (当期の実施状況) | Check (自己評価) | | |
| 担い手等 | 活動計画記載事項 | | 評価 | 取り組んだこと(良かったこと) | 今後の活動に向けて(課題等) |
| 市民 (できること) | ・特技や知識や経験をもっている人を推薦する | 平成27年度の社協だよりにて公募した地域タレント12組に対し、特技披露の場を探す。結果『第8回NPO市民フェスティバル』のステージの部にて発表の機会を得る。 NPO市民フェスティバル当日は、サンドイッチ広告をし、スカウトキャラバンや人材部会の活動について、広報活動した。 | B | 82歳(高齢者)がステージ発表したことで「私にも出来そう」という気持ちになった人もいた。 出演者自身もASTAで歌ったことが自信につながり、外に出て歌を楽しむようになった。 サンドイッチ広告に興味を持った人に声を掛けられたことで、その方を西東京ボランティア・市民活動センターにつなぐことが出来た。 | 当日の時間配分が上手くいかない場面もあった。 登録タレント12組の中に、まだ一度も接触していないタレントがいる。 |
| 社協 (担うこと) | ・名簿をまとめる ・参加者を募り、イベントを行う | 登録タレントへ、NPO市民フェスティバルのステージ発表参加の便りを作成し・発送した。 出演者、ゆめこらぼとの交渉および調整を行った。 当日資料の他、社協事業のチラシやパンフを入れた『ファイル』を80部用意した。 | B | 発砲スチロール製の専用ボードを使ったサンドイッチ広告は、宣伝する側にも好評であった。 ファイルを手渡ししながら宣伝・説明ができたのはよかった。 ファイルは75部配布し、うち1名から社協会費が振り込まれた。 | サンドイッチ広告で『タレント名鑑(登録タレントの紹介)』をしたらよかった。 音の出る活動をしているタレントの発表の機会の確保。 |
| 市 (期待すること) | ・市報等での広報 | 西東京市市民協働推進センターゆめこらぼとして『NPO市民フェスティバル』を開催した。 | B | | |
| 総合 | Do(当期の実施状況) | | B | ・スカウトキャラバンを実施することができたと共に、様々なつながりをつくることができた。 ・参加した人、見に来てくれた人の反応も、想像以上であった。 | ・2組のタレントしか披露できなかった。 ・残りの10組についても、社協事業や地域につながる機会をつくりたい。 |
| | ・NPO市民フェスティバルの開催場所が10月まで決まらず、そこからの準備・実施は慌ただしいものだったが、当日はとても素晴らしい歌声(特技)を披露することができた。 ・ステージ発表だけではなく、配布した資料、サンドイッチ広告での活動PRも功を奏し、東京都介護福祉士会ともつながることができた。 | | | | |

平成28年度 第三次西東京市地域福祉活動計画 進行管理表

人材部会

| | | | | | |
|----------------------|---|---|--------------|---|---|
| 具体的な活動内容 | | 人の良いところを見つける活動をする | | | |
| Plan (当期アクションプラン) | | ・考察、検討 | | 評価基準 A 計画どおり実施済 B 計画の50～100%未満の実施 C 計画の1～50%未満の実施 D 未実施 | |
| 目標(値) | | ・イベントの中で対象になる人を探すプログラムを展開 | | | |
| 成果 | 目標値に対する成果 | 第8回NPO・市民フェスティバルで「つなげる」努力をした。 | | | |
| | 取り組みに対する成果 | 1件、相談につながった。 | | | |
| できること・したいこと | | Do (当期の実施状況) | Check (自己評価) | | |
| 担い手等 | 活動計画記載事項 | | 評価 | 取り組んだこと(良かったこと) | 今後の活動に向けて(課題等) |
| 市民 (できること) | <ul style="list-style-type: none"> ・対象になる人をさがす ・対象になる人を紹介する(他己紹介) ・企画に参加する | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館(生涯教育)、利用団体とつながることが出来た。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・部会員全員がコーディネートが出来ること | <ul style="list-style-type: none"> ・部会長の人材リストの可視化が必要。 |
| 社協 (担うこと) | <ul style="list-style-type: none"> ・市民から紹介された、対象になる人の情報を活かす ・社協だよりやHPで活動を広める ・社協が行うイベントを活用して、活動をサポートする | <ul style="list-style-type: none"> ・NPO市民フェスティバルの中で、1件ボランティアセンターの相談につながった。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ・「私にもできるかも」、「私もやってみたい」という気持ちを引き出し、次の一歩を踏み出すきっかけをつくった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これからも、一歩を踏み出せるような仕掛け、つながりづくりを進める。 ・社協だよりやホームページ掲載用に、活動中の登録団体や部会員の様子を撮影する。(コーディネートのための資料とする) |
| 市 (期待すること) | <ul style="list-style-type: none"> ・人材の活用 | | | | |
| 総合 | Do(当期の実施状況) | | B | <ul style="list-style-type: none"> ・この取り組みにより、一歩を踏み出す機会を捉えることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・リスト化できる人しかリストにはいない。 ・突出したものがいない人や、日常生活の中で「ちょっと助けてくれる人」のような人材のリスト化も必要なのではないか。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館等のイベントの中から、新たなつながりをつくることできた。 | | | | |

平成28年度 第三次西東京市地域福祉活動計画 進行管理表

人材部会

| | |
|----------|------------------|
| 具体的な活動内容 | さまざまな交流のきっかけをつくる |
|----------|------------------|

| | | |
|----------------------|------------|---|
| Plan (当期アクションプラン) | ・企画実施、報告する | 評価基準 A 計画どおり実施済 B 計画の50～100%未満の実施 C 計画の1～50%未満の実施 D 未実施 |
| 目標(値) | 2～3地域 | |

| | | |
|----|------------|--|
| 成果 | 目標値に対する成果 | 社協主催の行事に人材をつなげることができた。 |
| | 取り組みに対する成果 | 社協主催の表彰式と退任民生委員を送る会で、それぞれ演奏者を紹介。好評を得た。 |

| できること・したいこと | | Do (当期の実施状況) | Check (自己評価) | | |
|---------------|--|---|--------------|--|--|
| 担い手等 | 活動計画記載事項 | | 評価 | 取り組んだこと(良かったこと) | 今後の活動に向けて(課題等) |
| 市民 (できること) | ・イベントに参加する、周りを巻き込む ・身近な人と交流イベントを行う(交流の手段はさまざま!) | ・地域活動拠点を通じた活動で、情報を共有する。 | B | ・手話コーラスやハーモニカ等、行事におけるコーディネートノウハウを活かして、部会員も自然にコーディネートすることが出来るようになった。 | ・部会長の人材リストの可視化が必要。 ・着地点としてボランティアセンター等どのようにしてつないでいくのか。 |
| 社協 (担うこと) | ・場の確保や運営のサポート ・行う場面(時期・場所や人材等)の設定や運営をサポートする ・小地域から活動を展開するために、ふれまちと連携する | ・社協やふれまち住民懇談会等に、演奏者を紹介。 ・地域活動拠点の整備等。 | B | ・社協のイベントで、登録団体に出演を依頼。演奏してもらうことができた。 ・地域活動拠点では、横のつながり(連携)が作れたことで交流が広がり、新たな活動を生むことができた。 | ・8ヶ所目の地域活動拠点の確保(西武新宿線より南側の地区) ・地域活動拠点によっては、活動室が手狭である。 |
| 市 (期待すること) | ・場所に関する情報提供 | 地域活動拠点の賃料を払っている。 | C | | |

| | | | | | |
|----|------------------------------------|--|---|--|--------------------|
| 総合 | Do(当期の実施状況) | | B | 活動のノウハウを活かし、誰もが自然にコーディネートすることができるようになってきた。 | ボランティアセンターとの連携・協力。 |
| | 西東京市の北側の地域を中心に、大小様々なマッチングを展開できている。 | | | | |

平成28年度 第三次西東京市地域福祉活動計画 進行管理表

情報部会

| | |
|----------|-------------------------|
| 具体的な活動内容 | アナログな情報(回覧板・掲示板等)を再活用する |
|----------|-------------------------|

| | | |
|----------------------|---|--|
| Plan (当期アクションプラン) | <ul style="list-style-type: none"> 企画準備(回覧板等の運営方法に関する検討) 企画実施(掲載内容の検討、モデル地域の選定、回覧板コンテストの実施) | <p>評価基準</p> <p>A 計画どおり実施済</p> <p>B 計画の50~100%未満の実施</p> <p>C 計画の1~50%未満の実施</p> <p>D 未実施</p> |
| 目標(値) | <ul style="list-style-type: none"> 検討会を開催運営する モデル地区選定 ・回覧板コンテストの実施 | |

| | | |
|----|------------|---|
| 成果 | 目標値に対する成果 | <ul style="list-style-type: none"> 検討会議を定例的に開催した。 回覧板に関するニーズや現状についての調査を再度行った(モデル地区を新たに選定、調査内容も改めて検討)。 |
| | 取り組みに対する成果 | <ul style="list-style-type: none"> 新たなモデル地区で調査を実施したことで、活動計画や情報部会の取り組みに関する広報や周知を図ることができた。 部会員自身がもつネットワークやつながりを活かし、取り組みを展開することができた。 |

| できること・したいこと | | Do (当期の実施状況) | Check (自己評価) | | |
|---------------|---|---|--------------|--|---|
| 担い手等 | 活動計画記載事項 | | 評価 | 取り組んだこと(良かったこと) | 今後の活動に向けて(課題等) |
| 市民 (できること) | <ul style="list-style-type: none"> 回覧板作成班(仮称)へ協力参加する 回覧板協力員になる 大学生の協力をもらう | <ul style="list-style-type: none"> 回覧板活用に関するニーズや現状の声を拾うため、新規モデル地区を選定、自治会長・副会長、広報担当者に協力依頼、交渉を行った。 新規モデル地区自治会で、回覧板に関する聞き取り調査を実施。 自治会主催の夏祭りに協力参加を予定していたが、雨天のため中止となった。 今回のモデル地区とは別に、集合住宅のニーズ調査、協力依頼をすすめることを検討。企画に向けた準備、情報収集に取り組む。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 自治会交渉の場には多くの委員が同席し、説明依頼をすることができた。 調査項目について毎回の会議で意見交換を行い作成。調査方法についても事前に検討、企画し、実施することができた。 武蔵野大学生、日本社会事業大学生、青年会議所、市民といった様々な立場の委員と共に聞き取り訪問調査に取り組めた。 委員が自主的に自身のネットワークやつながりを活かし、モデルとなる地区や団体への交渉等に取り組むことができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 情報部会として、今後も回覧板を活用した情報提供の実践について、自治会と一緒に活動を進めていく意向があることを伝えていく(訪問調査の協力で終了という雰囲気があるため)。 大学生への協力継続、世代交代の方法等について考える。 |
| 社協 (担うこと) | <ul style="list-style-type: none"> 関係団体(商工会等)へ特典等を働きかける 協力員を募集する 回覧板等の運用に向けた情報収集(仕分け)と掲載情報の発信をする | <ul style="list-style-type: none"> 新規モデル地区自治会長・副会長へ事業説明、交渉に同席。 自治会広報担当者となつなぎを作り、回覧板を活用して調査依頼や活動計画に関する情報提供を行った。 集合住宅でのニーズ調査を行うために、事業者(不動産関係者)へ事業説明、協力依頼を行う。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 安心して訪問調査ができるよう、事前に自治会員へ地域福祉活動計画を周知するチラシを作成、回覧していただいたり、調査当日使用する名札等の必要物品を準備したりした。 委員と共に自治会へ報告に出向くため、調査の報告書として感想や考察をまとめ、お渡しすることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 社協事業である「ふれまち助け合い活動」を回覧板で情報提供することで、自治会のニーズである「ちょっとした困りごとの解決」につながることを提案していく。 新規モデル地区の選定について支援を行っていく。 |
| 市 (期待すること) | <ul style="list-style-type: none"> 「回覧板復活」に向けた支援(例)免税クーポンの検討など 活動実施に係る全面的な後援及び共催 回覧板実施をPR | <ul style="list-style-type: none"> 協働コミュニティ課に出向き、回覧板活用の実態情報の提供を依頼する。 ゆめこらぼへ、市内大型マンションの情報発信事情について情報提供を依頼する。 | C | | <ul style="list-style-type: none"> 市と回覧板に関する情報交換、意見交換の機会をつくる。 調査が主になったため、具体的な支援、協力依頼事項が発生しなかった。 |

| | | | | |
|----|---|---|--|---|
| 総合 | Do(当期の実施状況) | B | <ul style="list-style-type: none"> 調査方法やモデル地区を変更したことで、前年度の調査より多くの回答を得ることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 現モデル地区での自治会の課題である「自治会員を増やすこと」と、情報部会が目指す「回覧板の活用」との接点を具体的にあげて、協働に向けた展開を考える。 新たな回覧板づくりに取り組めていないため、新規モデル地区(集合住宅を想定)を選定し、現モデル地区との比較を含め、回覧板の再活用をすすめる。 クーポン券以外の魅力ある情報提供に取り組めていないため、調査をもとに検討する。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 毎月の会議から聞き取り調査実施に向けた取り組み方法を検討し、企画、実施した。 モデル地区自治会の広報担当者に定期的に会議に参加していただいたことで、調査の準備や企画、検討を一緒に行うことができた。 聞き取り調査は、モデル地区エリアをブロックに分けて、グループごとに実施。学生部会員と社会人部会員が組んでグループを作成し、住民から生の声を聴くことができた。入力作業についても部会員間で分担して行った。 調査後、自治会との接点をつくるために役員会を見学させていただいた(2~3月実施)。 新たな集合住宅モデルの選定、協力依頼について検討。部会員である青年会議所関係から不動産関係の方をご紹介いただき、会議に同席依頼する。取り組みについて説明し、協力を仰いだ。 | | | |

平成28年度 第三次西東京市地域福祉活動計画 進行管理表

情報部会

| | |
|----------|----------------|
| 具体的な活動内容 | デジタルな伝達手段を活用する |
|----------|----------------|

| | | |
|----------------------|--|---|
| Plan (当期アクションプラン) | ○現状の把握 ・デジタル媒体、活用方法の検討 ・既存調査の活用 ・現状媒体の調査実施 ○企画準備 ・広報、普及に関する検討 | 評価基準 A 計画どおり実施済 B 計画の50～100%未満の実施 C 計画の1～50%未満の実施 D 未実施 |
| | 目標(値) | |

| | | |
|----|------------|--|
| 成果 | 目標値に対する成果 | ・デジタル媒体を選定(フェイスブック)し、未公開ではあるが基本となるページが完成した。 ・作成までの準備や内容などを検討した。 |
| | 取り組みに対する成果 | 部会全体で検討しながら取り組むことができた。 |

| できること・したいこと | | Do (当期の実施状況) | Check (自己評価) | | |
|---------------|---|--|--------------|---|--|
| 担い手等 | 活動計画記載事項 | | 評価 | 取り組んだこと(良かったこと) | 今後の活動に向けて(課題等) |
| 市民 (できること) | ・市民参加型の会で意見を述べる ・大学生の協力をもらう ・多くの市民が情報を得られるように、お互いに声かけをする | ・デジタルな情報発信に向けた準備、検討を行った。 ・未公開ではあるが、フェイスブックページを作成した。 | B | ・大学生の協力を得て、アイコン、カバー画像となる画像を作成したり、ページを作成したりした。 ・作成に必要な事項を会議で検討し、ページを作成することができた。 | ・コンテンツの集め方や更新方法などの詳細を検討し、他部会にも活用できるようにする。 ・自治会等他団体の参加方法についても検討する。 |
| 社協 (担うこと) | ・企業や関係団体等へ参入を働きかける ・ホームページを活用してPRをする | フェイスブックページの作成準備、検討に参加。随時支援する。 | C | | ・公開に向けた支援を行う。 ・他部会での活用方法について検討、提案する。 |
| 市 (期待すること) | ・関係団体への働きかけ ・市報等での広報 | | D | | 準備段階の為、働きかけていない。公開する際に、関係団体等へ働きかける。 |

| | | | | |
|----|---|---|---|--|
| 総合 | Do(当期の実施状況) | B | 情報発信媒体(フェイスブック)を決定し、未公開ではあるがページを作成することができた。 | 地域の情報を収集したが、今後どのようなコンテンツにするか決まっていない。 ・今後の運用方法を検討する。 ・他の部会へ運用方法を情報伝達する。 |
| | ・部会長と大学生を中心に、フェイスブックページ作成に取り組む。 ・ページアイコンやカバー写真は大学生による手描きイラストを活用。ページのシンボルでもある犬のイラストに付ける愛称も会議で決定。 ・ページ作成について大学生が管理者として登録、作成作業に協力してもらった。 ・ページ名は部会員がそれぞれ考えたものから決定した。 | | | |

第三次西東京市地域福祉活動計画 進行管理表

情報部会

| | |
|----------|--------------|
| 具体的な活動内容 | 必要な情報を集め・広める |
|----------|--------------|

当項目については、第5回 第三次西東京市地域福祉活動計画進行管理委員会<平成29年2月14日(火)>の検討結果にもとづき、「アナログな情報(回覧板・掲示板等)を再活用する」及び「デジタルな伝達手段を活用する」に統合化する。

第三次西東京市地域福祉活動計画 進行管理表(平成28年度)「Action(進行管理委員会からの意見・提案等)」

(居場所づくり部会)

| 区分 | 具体的な活動内容 | Plan(計画) | 取り組んで良かったこと(まとめ) | 今後の活動に向けての課題等(まとめ) | Action (進行管理委員会からの意見・提案等) |
|----|-----------------------|--------------|--|---|---|
| イ | 誰もが立ち寄れる雰囲気のある居場所をつくる | ○ 活動者を増やす | 【マニュアルの作成】 ① サロン活動の実践をもとにマニュアルを作成したこと。 【情報発信】 ② 情報提供の取り組みとして、チラシの配布や、道行く人への声掛けを行ったこと。 【取り組みによる効果】 ③ 子どもに社会のルールを伝えていくことで、社会性が身についたこと。 【運営資金】 ④ 市の補助金を申請し、活動資金にあてたこと。 | 【マニュアルの活用】 ① マニュアルを活用して、サロンの立ち上げや活動者の増強及び支援を行なうこと。 【サロンの運営】 ② 安全・安心なサロンにするために取り組むこと。 (例:参加者の保険加入) ③ 様々な方がサロンに集うので、それぞれが心地よいと思えるサロン運営に取り組むこと。 | 【マニュアルの作成・活用】 ① マニュアルの中にサロンを継続的に運営していくための方法を追加していくこと。(イ) ② サロンを何故運営しているのか、その意味を確認すること。(イ、ロ) 【情報発信】 ③ 活動の内容を情報部会に提示し、市民に情報発信していくこと。(イ、ロ) |
| ロ | 一緒に活動できる機会をつくる | ○ 話し合いの会をつくる | 【サロンの運営】 ① サロン活動を続けることができたこと。 ② 参加者が主体的に取り組むようになったこと。 【マニュアルの作成】 ③ マニュアル作成に取り組むことで、活動計画の目的を再確認することができたこと。 【取り組みによる効果】 ④ 子どもからのアクションにより、高齢者の参加促進につながったこと。 ⑤ サロン活動者との交流から、新たなつながりが生まれたこと。 【運営資金】 ⑥ 市の補助金で活動することにより、効率よく予算執行できていること。 | 【ネットワークづくり】 ① サロン連絡会の立ち上げ、運営について検討していくこと。 (サロン活動者のネットワークづくり) 【サロンの運営・活動者の増強】 ② サロン「よってらっしゃい」の活動を充実させるとともに、活動者を増やす・支援する方法を模索すること。 | 【担い手の育成】 ④ 現在実施しているサロン運営の担い手の育成について検討すること。(イ、ロ) 【社協によるサポートの強化】 ⑤ 担い手の確保、育成、活動者への側面的な支援について、社協のサポート体制を強化すること。(イ、ロ) 【3部会の連携、協働】 ⑥ 3部会が連携、協働して取り組めるものを検討すること。(3部会共通) |

第三次西東京市地域福祉活動計画 進行管理表(平成28年度)「Action(進行管理委員会からの意見・提案等)」

(人材部会)

| 区分 | 具体的な活動内容 | Plan(計画) | 取り組んで良かったこと(まとめ) | 今後の活動に向けての課題等(まとめ) | Action (進行管理委員会からの意見・提案等) |
|----|-------------------|-----------------------------|---|--|---|
| イ | “地域スカウトキャラバン”をつくる | ○ “地域スカウトキャラバン”を企画実施、報告する | 【スカウトキャラバンの取り組み】 ① NPO市民フェスティバル会場においてスカウトキャラバンを実施することができたこと。 ② 登録タレントの高齢者がステージ発表をしたことで、部会の取り組みに興味を持っていただく人が出てきたこと。 ③ 出演者自身が人前で歌ったことにより、自信につながったこと。 【広報活動】 ④ 行事当日にサンドイッチ広告を行い、興味を持った人を西東京ボランティア・市民活動センターにつなぐことが出来たこと。 | 【スカウトキャラバンの取り組み】 ① スカウトキャラバン当日の時間配分が上手くいかない場面があったこと。 ② 2組のタレントしか披露できなかったため、残りのタレントについても、社協事業や地域につながる機会をつくること。 【タレント情報の整理】 ③ 登録タレントの中に、まだ一度も接触していないタレントがいること。 | 【発表の場の拡大】 ① 人材部会で集めたタレント(人材)が活躍できる団体や組織をどう確保・整理していくのか検討すること。(ロ、ハ) ② タレントが発表できる場の拡大を図るために他の部会との連携を強化すること。(ハ) 【西東京ボランティア・市民活動センターとの連携、役割分担】 ③ ボランティア・市民活動センターとの連携、役割分担について整理すること。(イ、ロ、ハ) ④ センターの存在や機能を、活動者側にも活用したい側にも情報提供をしていくこと。(ロ、ハ) ⑤ 人材活用をしやすくするようなプログラムを検討すること。(ロ、ハ) |
| ロ | 人の良いところを見つける活動をする | ○ イベントの中で、対象になる人を探すプログラムを展開 | 【コーディネート】 ① 部会員全員が活動者と活動先のコーディネートを行うことが出来たこと。 ② 一步を踏み出す機会を捉える事ができたこと。 【ネットワークづくり】 ③ 公民館(生涯教育)、利用団体とつながることが出来たこと。 | 【人材情報の整理】 ① 人材リストを作成、整理し、可視化すること。 ② タレント以外の人材リストの作成も必要であること。(例:日常生活の中で「ちょっと助けてくれる人」) | 【取り組みの明確化】 ⑥ 人材リストを作成し、これまで取り組んできたコーディネート方法について整理して可視化すること。(ロ、ハ) |
| ハ | さまざまな交流のきっかけをつくる | ○ 交流のきっかけをつくるための企画実施、報告する | 【コーディネート】 ① 活動ノウハウを活かして、部会員も自然にコーディネートすることが出来るようになったこと。 【活動者の増強】 ② 新たな部会員が人材部会に加入したこと。 【ネットワークづくり】 ③ 地域活動拠点で、横のつながり(連携)が作れたことで交流が広がり、新たな活動を生むことができたこと。 | 【人材情報の整理】 ① 人材リストを作成、整理し、可視化すること。 【コーディネーターを担える人材の育成】 ② 活動者と人や施設等とをつなぐコーディネーターの育成について検討すること。 【コーディネート方法の可視化、共有】 ③ 色々な人がコーディネーターを担えるよう、方法を可視化し、共有すること。 【ネットワークづくり】 ④ 西東京ボランティア・市民活動センターと、どのように連携・協力していくのか検討すること。 | 【担い手の育成】 ⑦ 人材部会の活動を引き継ぐ担い手を育成すること。(イ、ロ、ハ) 【3部会の連携、協働】 ⑧ 3部会が連携、協働して取り組めるものを検討すること。(三部会共通) |

第三次西東京市地域福祉活動計画 進行管理表(平成28年度)「Action(進行管理委員会からの意見・提案等)」

(情報部会)

| 区分 | 具体的な活動内容 | Plan(計画) | 取り組んで良かったこと(まとめ) | 今後の活動に向けての課題等(まとめ) | Action (進行管理委員会からの意見・提案等) |
|----|-------------------------|---|--|---|---|
| イ | アナログな情報(回覧板・掲示板等)を再活用する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 回覧板等の運営方法に関する検討 ○ 掲載内容の検討 ○ モデル地域の選定 ○ 回覧板コンテンツの実施 | <p>【ネットワークづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自治会交渉の場には多くの委員が同席し、説明依頼をすることができたこと。 ② 委員が自主的に自身のネットワークやつながりを活かし、モデルとなる地区や団体への交渉に取り組むことができたこと。 <p>【アンケート調査の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 調査項目、調査方法について事前に検討、企画し、実施することができたこと。 ④ 大学生、青年会議所、市民といった様々な立場の委員と共に、聞き取り訪問調査に取り組むことができたこと。 ⑤ 調査方法やモデル地区を変更したことで、前年度の調査より多くの回答を得ることができたこと。 | <p>【回覧板のテーマ設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自治会の課題である「自治会員を増やすこと」と、「回覧板の活用」との接点を具体的にあげて、協働に向けた展開を検討すること。 ② 自治会の課題である「ちょっとした困りごとの解決」の方法について、回覧板で情報提供していくこと。(例:ふれまち助け合い活動) <p>【大学生の参加による取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 大学生への協力依頼を継続して行い、進級による世代交代の方法等について検討すること。 <p>【モデル地区での取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 新規モデル地区(集合住宅を想定)を選定し、現モデル地区との比較を含め、回覧板の再活用をすすめること。 <p>【市との協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 市と回覧板に関する情報交換、意見交換の機会をつくること。 | <p>【情報の発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 住民が求めるコンテンツの集め方や発信方法について、運営体制も含めて検討すること。(3部会や町内会の情報の発信方法等)(イ、ロ) ② デジタルの分野において、市と連携して情報発信する方策について検討すること。(ロ) <p>【意識ある自治会の発掘】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 意識のある自治会を発掘するために、回覧板の実施のメリットを伝えていただくよう行政に働きかけること。(イ) ④ ③について、組織対組織の交渉として社協が協力すること。(イ) <p>【活動者の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 大学生や部会活動に関わる方々のモチベーションを保つ方策について検討すること。(イ、ロ) ⑥ 社協として、活動者の増強に取り組むこと。(イ、ロ) |
| ロ | デジタルな伝達手段を活用する | <ul style="list-style-type: none"> ○ 活用方法の検討 ○ 既存調査の活用 ○ 現状媒体の調査実施 ○ 広報、普及に関する検討 | <p>【フェイスブックページの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 情報発信媒体(フェイスブック)を決定し、未公開ではあるがページを作成することができたこと。 ② 作成に必要な事項を会議で検討し、ページを作成することができたこと。 <p>【大学生の参加による取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 大学生の協力を得て、アイコン、カバー画像となる画像を作成し、ページを作成することができたこと。 | <p>【フェイスブックページの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① コンテンツの集め方や更新方法などの詳細を検討すること。 ② 他部会でも活用できる方法について検討、提案すること。 ③ 自治会等の他団体の参加方法についても検討すること。 ④ 公開に向けた支援を行うこと。 | <p>【社協によるサポートの強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ この取り組みを自治会からふれまちにどのようにつなげていくか検討すること。(イ) <p>【3部会の連携、協働】</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧ 3部会が連携、協働して取り組めるものを検討すること。(三部会共通) |